

令和5年度CPD講演会・見学会（北信地区）

「気象レーダーとその利用～技術的変遷と最新技術について学ぶ」

- 1 日時：2023(令和5)年11月11日（土）13:00～16:00
- 2 場所：日本無線株式会社長野事業所
- 3 参加者：36名（講師3名は別）
- 4 内容：

(1) 会社紹介：「日本無線の歴史と製品群の紹介」

日本無線株式会社 総務部 長野総務グループ グループ長 石原 剛文氏

日本無線株式会社は、1915年に創設され、今年で108周年を迎えた歴史のある企業。無線技術を活用した製品群やシステム、提供範囲などについて紹介される。

(2) 工場見学

①先端技術センター見学 上記の石原 剛文氏

外装は通信実験用バルコニーが多方向に張り出し、内部は研究者同士が会う開放的な中央空間と、個人作業に集中できる外周空間が境界なく展開し繋がるとの説明と見学。

その後、先端技術センター屋上で実際の防災関連及び気象レーダーの装置を見る。

②気象レーダー見学

日本無線株式会社 ソリューション事業部 レーダインテグレートグループ グループ長 佐藤 公規氏

新しいレーダーの、大きなものと小さいもの実際の検査について説明され、見学。

(3) 講演：「気象レーダーとその利用～技術的変遷と最新技術について」

一般財団法人 日本気象協会シニアアドバイザー/

JICA 技術協力プロジェクト専門家 長屋 勝博 氏

「小説に書かれた日本無線」という歴史について話された後、気象レーダーについて、波の性質を利用した技術の進展、過去から現在までレーダー方式の変遷、レーダーによる雨の観測、システム構成とデータ処理技術、最近の降雨検知技術、フェーズドアレイレーダー、線状降水帯などについてお聴きする。

- 5 この講演会・見学会について、参加者の皆様にアンケートを実施した。「貴重な現場を見ることができ、講演と説明で気象レーダーの歴史、仕組みを知ることができたなど」の意見が多くあった。なお、「講演時間をもっと長くしてほしいなど」の意見もあった。



写真① 長屋さん講演



写真② 講演会風景